

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586026501	科目番号 / Subject code	05860265
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 14511_005		
授業科目名 / Subject	変わり行く社会を生きる1 (社会とマスメディア) / Role of Mass Media in Modern Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori, 高橋 信雄 / Nobuo Takahashi, 内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	矢野 香 / Yano Kaori, 高橋 信雄 / Nobuo Takahashi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	キャリア支援センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2101		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ことばや映像を活用して社会にメッセージを発信する新聞、ラジオ、テレビ、インターネットを取り上げ、その中でのことばの使われ方や映像の工夫などを理解するとともに、それらを批判的に受け取り、論理的に考える態度の育成を図る。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスメディアが社会の事象をどのように取り上げ、表現するかを理解することができる。(8、10、11、12)</li> <li>・マスメディアからの発信をどのように受信すれば良いかを理解することができる。(3)</li> <li>・自己の意見を持ち、それを相手に向けてどのように発信すれば良いかを理解し、実践できる。(1、4、5)</li> </ul> (括弧)内は、対応する全学モジュール目標の番号		
授業方法 (学習指導法) /Method	担当は、矢野、高橋の他、新聞社から現役社員を講師として迎える。 この授業においては、予習を重視し、それをもとにした授業展開を中心とする。 学生一人ひとりがそれぞれの課題に向き合い、意見を持って積極的に授業に臨むことが重要となる。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習復習課題として作成したレポートやパワーポイント、動画などをLACSより提出してもらいます。		
キーワード/Key word	マスメディア、マイメディア、新聞、ラジオ、テレビ、インターネット、批判的思考、論理的思考、自己表現		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	新聞やテレビ、ラジオ、インターネットなど、身近なマスメディア。 必要に応じて、新聞記事などの資料を配布。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業外課題、授業内活動(グループワーク・プレゼンテーション)、試験・レポートを合計して評価し、60点以上を合格とする。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	予習する態度が身についていること。 自分の考えをまとめ、表現しようという意欲があること。		
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	今の社会、ひいては将来の社会の姿を作っているのは、私たち一人ひとりです。しかしその私たち一人一人は異なる意識や視点、経験を持っています。そうした“個”を意識するとともに、社会という“集団”の中で対応する力をつけるべく、本モジュールでは、私たちが生きる社会の変化について学び、これからの社会の在り方について考える機会にしましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	12月7日(木) オリエンテーション 担当: 矢野		

第2回	12月7日(木) 自己紹介 担当: 矢野
第3回	12月14日(木) 学生生活とメディア 担当: 矢野
第4回	12月14日(木) ラジオ・テレビの役割 担当: 矢野
第5回	12月21日(木) 新聞の役割 担当: 高橋
第6回	12月21日(木) 私にとってのフロントランナー 担当: 矢野
第7回	1月4日(木) プレゼン技術習得法? 担当: 矢野
第8回	1月4日(木) プレゼン技術習得法? 担当: 矢野
第9回	1月11日(木) フロントランナーとしての私? 担当: 矢野
第10回	1月11日(木) フロントランナーとしての私? 担当: 矢野
第11回	1月18日(木) 多様なメディア? 担当: 高橋
第12回	1月18日(木) 多様なメディア? 担当: 高橋
第13回	1月25日(木) 新聞紙面作り? 担当: 新聞社員
第14回	1月25日(木) 新聞紙面作り? 担当: 新聞社員
第15回	2月1日(木) 定期試験 担当: 矢野
第16回	2月1日(木) 振り返り 担当: 矢野

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586026701	科目番号 / Subject code	05860267
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 14531_005		
授業科目名 / Subject	変わり行く社会を生きる1 (心と社会) / Mind and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	学校教育教員養成課程2年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soudan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部シンフォニー 1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2297		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 まずはメールで確認を		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	心とことばの関係を臨床事例を通して理解する。また、カウンセラーの役割を通すなかで、ことばを用いて相手を理解し、自己を表現する方法を身につける。		
授業到達目標/Goal	? コミュニケーションを支えることばの意義を理解することができる。 ? ことばの持つ内面性について理解することができる。 ? 多様な表現を使って、適切なコミュニケーションができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義と対話、フィールドワーク		
授業内容/Class outline/Con	授業の内容は大きくは以下の5つに分けられる。?言葉の発達とコミュニケーション ?多様なコミュニケーション (言語・非言語) ?より良い話の聴き方接し方 ?コミュニケーションの困難さを抱える人への理解を深める ?コミュニケーションに関する内容の調査とまとめ、発表		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	(事前) 授業に使用するプリントを印刷し、不明な用語などを調べる。 (事後) 講義内容に関連した新聞記事等を読み、講義内容を振り返る。		
キーワード/Key word	カウンセリング 心理相談 臨床心理士		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。授業時に資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業参加度・演習 (40%), 小レポート (30%), まとめのレポート (30%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	対人関係及び心理学に興味を持ち、積極的に活動にも参加できる意欲のある学生を望みます。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	適宜指示する		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	自己紹介・他者理解		
第3回	グループワーク???		
第4回	グループワーク???		
第5回	発表・振り返り		
第6回	言葉の発達		
第7回	いろいろなコミュニケーション 言語・非言語		
第8回	傾聴訓練		
第9回	対人関係の困難について?		

第10回	対人関係の困難について?
第11回	グループワーク?
第12回	グループワーク?
第13回	発表?
第14回	発表?
第15回	まとめ
第16回	まとめのレポート

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/24		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586028701	科目番号 / Subject code	05860287
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	変わり行く社会を生きる1 (社会と教育) / Education in Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池田 浩 / Ikeda Ko, 内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	池田 浩 / Ikeda Ko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	池田 浩 / Ikeda Ko		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kouikedanagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部527号		
担当教員TEL/Tel	095-819-2234		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	学力、いじめ・不登校、防災等、現在日本の教育が抱えている課題等について理解するとともに、グローバル化、少子高齢化等、急激に変化する社会の中で求められる教育の在り方や自身が身に付けるべき資質・能力等について考える。		
授業到達目標/Goal	教育現場の現状・取組等及び教育課題について理解する。(???) 職業人、社会人として、家庭を築く人として教育にどのように向かえばよいかを理解する。(??) 教育に対する自己の意見を持ち、自ら学びに向かう力を高めようと実践できる。(??)		
授業方法 (学習指導法) /Method	この授業においては教育課題等を提示し事前に予習した内容をもとにした授業を展開します。学生一人一人が教育課題に向き合い、グループワークやプレゼンテーション等の活動を行う中で自らの意見を持って積極的に授業に臨むことが重要です。		
授業内容/Class outline/Con	第1回から12回までの授業は、基本的に2コマ1テーマとして、教育の現状、求められる学力、ふるさと教育とグローバル社会、学校における危機管理、支援を要する子どもたちの実態、家庭・地域の教育力等、提示した教育課題について理解を深めるとともに、グループワーク等の活動により各自の教育に対する認識を深めます。第13回から第15回はこれから社会を生きる社会人として、職業人として、また家庭を築く人として身に付けるべき資質・能力について考えるとともに、将来求めたい教育の姿について自らの考えを深める活動を行います。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	新しい学習指導要領が改訂され、これから求められる教育の姿が示されています。求められている教育、課題等について小レポートを求めていきます。		
キーワード/Key word	求められる学力、家庭・地域社会・学校の連携、危機管理(心と命)		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	新聞、インターネット等で取り上げる教育に関わる記事等 このほか新学習指導要領を購入してもらいます。詳細は授業内で指示します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業外課題(4点×7)+授業内活動(32点)+試験レポート(40点)=100点のうち、60点以上を合格とします。 なお、授業に欠席した回数が3回を上回る場合は、失格とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	予習する態度が身につけていること。自分の考えをまとめることができること。		
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	現在の教育の現状、課題を理解するとともに、次代を生きる社会人として、職業人として、家庭を築く人として自らに求められる資質・能力についても考える機会にしましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月29日(金) 教育の現状・課題		
第2回	9月29日(金) 教育の現状・課題		
第3回	10月6日(金) 求められる学力		
第4回	10月6日(金) 求められる学力		

第5回	10月13日(金) ふるさと教育とグローバル社会
第6回	10月13日(金) ふるさと教育とグローバル社会
第7回	10月20日(金) 学校における危機管理
第8回	10月20日(金) 学校における危機管理
第9回	10月27日(金) 支援を要する児童生徒の実態
第10回	10月27日(金) 支援を要する児童生徒の実態
第11回	11月10日(金) 家庭・地域社会の教育力
第12回	11月10日(金) 家庭・地域社会の教育力
第13回	11月17日(金) 教育を通して見える未来
第14回	11月17日(金) 教育を通して見える未来
第15回	11月24日(金) まとめ(身に付けるべき力)